

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary
横浜旭ロータリークラブ



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 RI会長／フランチェスコ・アレッソ
RI.D2590ガバナー／大塚 正一
横浜旭RC会長／五十嵐 正



ガールスカウトとクリーン作戦



第12回 チャリティーコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836
TEL:080-1215-6668/FAX:045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3/4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2026年1月7日 第2602回例会 VOL.57 No.19

■司会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 五十嵐 正

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	66.67%

■本日の欠席者

目黒、中谷、二宮、佐藤（真）、関口、宋、

■オンライン出席 福村

■ビジター

桑原 薫様（地区職業奉仕委員長・横浜港北RC）

吉原 真人様（地区職業奉仕委員会委員・横浜東RC）

■誕生日祝い



中谷会員 1.21 中島会員 1.28

■会長報告 五十嵐 正

皆さま、新年おめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

年の始めは、「これまでを振り返り、これからを考える」良い機会だと思っております。

本年も、当クラブらしい奉仕のかたちを、皆さんと一緒に考え、積み重ねていければと考えております。

ロータリーもまた、時代や社会環境の変化に合わせて、少しづつ仕組みや考え方を見直しながら活動を続けてきました。

本日はその一例として、地区に関わる規定の変更について、皆さんにご報告をさせていただきます。

前回の第5グループ会長幹事会において、地区より示されました「ガバナー補佐任命規定の変更」についてご報告いたします。

細かい条文につきましては、お配りしている資料をご覧いただき、ここではクラブとして知っておくべき主なポイントのみをご説明いたします。

まず、資格条件に関する第4条5項ですが、「自らパソコンを使用し、オンラインミーティングに参加できること」が新たに明記されました。時代の流れを反映した、これまでになかった点かと思います。

また、これまで第5グループでは輪番制となっていましたが、今後はガバナーが任命する方式へと変更されます。

慣例では次年度は、あざみRCからとされておりましたが、場合によっては変更となる可能性があります。

この点につきましては、会長幹事会でも賛否の意見が出ましたが、2026年1月1日から改訂されることと、すでに決定事項となっております。今後、ガバナーからご本人へ直接指名がある場合、あるいは各クラブから候補者を1名推薦するよう要請がある場合も考えられますが、現時点では想定段階でございますので、ご承知おきください。

また、本日理事会でも協議いたしますが、次年度・宮田年度につきましては、宮田ガバナーエレクトが横浜南クラブのご出身であることから、地区大会のホストクラブを横浜南クラブ、コ・ホストを第5グループ全クラブで対応してほしい、との要請がございましたので、併せてお知らせいたします。

さて、本日の卓話は、地区職業奉仕委員長の桑原さんにお願いしております。テーマは「奉仕の理想」と「奉仕の理念」です。やや哲学的な内容ではありますが、年の始めにあたり、改めてロータリーの原点を考える大変良い機会になるかと思います。桑原委員長に分かりやすくご解説いただけると思いますので、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

■次年度第1回理事会報告 市川 慎二

5・6頁参照

■ニコニコBOX

桑原 薫様（地区職業奉仕委員長・横浜港北RC）／明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

吉原 真人様（地区職業奉仕委員会委員・横浜東RC）／本日は横浜東ロータリークラブより伺いまし

た。クラブ入会後、初めてのメーカアップです。よろしくお願ひ致します。

安藤 公一／①新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。②桑原様ようこそ。本日の卓話よろしくお願ひします。③本日14時より高校ラグビー決勝です。桐蔭学園への応援宜しくお願ひします。④1/11の大学ラグビー早明戦決勝楽しみです。

新川 尚／あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。

五十嵐 正／皆様、あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。地区職業奉仕委員会委員長桑原様、本日はご指導よろしくお願ひします。

中島 徹／皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。地区職業奉仕委員会委員長桑原様、本日はよろしくお願ひします。

田川 富男／今年も宜しくお願ひ申し上げます。本日の職業奉仕卓話では地区職業奉仕の第一人者である桑原委員長にお願い致しました。宜しくお願ひ申し上げます。

市川 慎二／新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。桑原様職業奉仕フォーラム宜しくお願ひします。横浜東RC吉原様ようこそ。

関澤 信吾／皆様、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。桑原様、本日の卓話よろしく。

増田嘉一郎／明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひします。

岡田 隆／新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。桑原様、本日の卓話よろしくお願ひします。

北澤 正浩／新年明けましておめでとうございます。本日の職業奉仕フォーラム、地区職業奉仕委員長、桑原様、宜しくお願ひ致します。

■ 「奉仕の理想」と「奉仕の理念」

2590 地区職業奉仕委員長 桑原 薫様

① 梅吉翁は Service を「サービス」と訳したが、神戸 RC の外国語禁止提案(1934)によって「サービス」が一律「奉仕」に書き換えられたため、様々な誤解が生じた。なぜなら、Service が「貢献・役務・役目・部門・訓練」など様々な意味で使われているからだ。

② 古来「Service = 奉仕 = 仕えること」だったが、近世に、Service は「役に立つ働き」「果たすべき務め」という意味をもった。一方、奉仕は「見返りを求めずに他に尽くす」という意味をもった。つまり、Service には「見返りを求めるない」という意味合いがないのだ。

③ 日本のロータリーにおいて

Community Service Activities は「社会奉仕活動」と訳されているが、欧米では「社会貢献活動」だ。なぜなら、宗教上の「見返り」があるからだ。

④ 奉仕の理想(1934)の原句は The Ideal of Service だ。The Ideal of Service の概念を示唆するアイテムの一つに「二つの標語」がある。

⑤ 第一標語は「サービスの哲学」を示し、第二標語は「この哲学の原理」を示している。つまり「二つの標語が、二つの理念を表している」わけではない。ロータリーが謳うのは、ダブルスタンダード（二重基準・二枚舌）ではなく、Integrity（高潔性・一貫性）だ。

⑥ 第一標語「超我の奉仕」の原句は、Service Above Self だ。2005 年に発見された資料により、この標語が「Self（利己心・出し惜しみ）よりも Service（お役立ち）の方が、より多くの利益を生む」という意味だとわかった。

⑦ 第二標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の原句は、He Profits Most Who Serves Best だ。この標語は「サービスの理論」という経営学の Principle（原理）で、自分の仕事相手（His Fellows）が省略された状態だ。仕



事相手とは、事業主から見れば「顧客・従業員・取引先など」のステークホルダー（利害関係者）のことだ。

つまり、この標語は「ステークホルダーに対し、最善の Service（お役立ち）をする者が最多の利益を得る」という意味だ。

⑧ 事実、英国のロータリーが「この標語は品がない」として、この標語の廃止を求めている。また、公式文書に、この標語は「Practical（現実的）で Ethical（合理的）な Principle（原理）である」と明記されている。ただし、これは真理ではなく、理想的な「あり方・原理」だ。

⑨ 1915 年、哲学委員会グレン・ミードは、この Principle を The Ideal of Service（サービスの理想的な原理）と呼んだ。なぜなら「Principle = 目標とすべき Ideal」だからだ。Ideal には「理想的な原理・理想的なあり方」という意味があるのだ。

⑩ 1918 年、ロータリーは、この原理を「企業の基本原理として」推奨した。

⑪ しかし、日本のロータリーが Enterprise（企業）の Basis（基本原理）を「事業の基礎」と訳したため、真意が伝わらなかったのだ。

⑫ 日本のロータリーは、2012 年に The Ideal of Service の訳語を「奉仕の理想」から「奉仕の理念」にかえた。奉仕の理念は「自分の利益よりも他者の利益を優先する」という理念だ。一方、The Ideal of Service は「他者の利益を、自分の利益と同じように大切にすれば、より多くの利益が得られる」という原理だ。

■三大サービス（1927）の誕生

① 1905年、ポール・ハリスは、事業主同士が、Trade（商取引）とTalk（情報交換）をするためFellowship（同志の集まり）を創った。この団体で裕福になる者も現れた。しかし、ドナルド・カーターは「自分達の利益しか考えない団体には入りたくない」と入会を拒否した。

② 1907年、そこで、集団的Community Service Activities（社会貢献活動）を始めた。また1908年には「サービスの理論という経営学を団体で学び、この理論を個々人で実践する」というService（役務）を始めた。なお、前者はCommunity（社会）に対するService（貢献）だが、後者はSociety（利害関係者＝ステークホルダー）に対する貢献だ。

③ 1911年、前述の経営学のHe Profits Most Who Serves Best（最もよく貢献する者が最も多くの利益を得る）というPrinciple（原理）が「ロータリーの標語」として発表された。

④ 1915年、哲学委員長グレン・ミードは、この原理をThe Ideal of Service（サービスの理想的な原理）と呼んだ。なぜなら、Principle=目指すべきIdeal（理想的な原理）だからだ。1918年、この原理は、Enterprise（企業）のBasis（基本原理）として推奨された。

⑤ つまり、The Ideal of Serviceは「企業原理」であり「利益を生む原理」だが「奉仕の理想」や「奉仕の理念」と訳されたため、真意が伝わらなかった。なぜなら、Service（有用な仕事）は利益を生むが、奉仕（無償の尽力）は利益を生まないからだ。

⑥ 梅吉翁はServiceを「サービス」と訳した。しかし、神戸RCの外国語禁止提案（1934）によって、これが一律「奉仕」に書き換えられたため、様々な誤解が生じた。なぜなら、Serviceが「貢献・役務・役目・仕事・部門・訓練」などの意味で使われているからだ。

⑦ 1922年、ロータリーは「商売を成功させる」経営学を「眞の幸福を摑む」Philosophy（哲学・信念・生き方）に変換した。この生き方が「ロータリアンの各々が、個人生活・職業生活・社会生活において、前述の原理を応用する」という生き方だ。

⑧ 1922年、ロータリーは「この生き方を貫き、また、これを世に広める」というMovement（運動）を始め、これをCommunity Service（社会的役務）と名付けた。そして、Community Service Activities（1907）ではなく、このCommunity Serviceを推奨した。

⑨ ところが、日本のロータリーがCommunity Serviceを「社会奉仕」と訳し、Community Service Activities（1907）を「社会奉仕活動」と訳したため、両者が混同された。その結果、Community Service（1922）という運動が「なかったことに」なってしまった。

⑩ 1923年「サービスの理論という経営学を集団で学び、この理論を個々人で実践する」という原則が再確認された。そのため「集団的社會貢獻活動」は原則違反となった。しかし、この活動は「会員を訓練するための手段」として容認された。ただし「いわば研究室の実験として行う」「单年度で打ち切ることが望ましい」など、様々な制限が加えられた。

⑪ 1927年、Community Serviceを三分割し、夫々をClub Service（クラブ会員の役務）、Vocational Service（職業的役務）、Community Service（社会的役務）と名付けた。

⑫ しかし、これらが「クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕」と訳されたため「クラブに対する奉仕・職業に対する奉仕？・社会に対する奉仕」と誤解され、論理が混乱した。

■ 1/21

夜間例会 点鐘 18：30 サンハート

職業卓話 安藤会員

2026~2027 年度 横浜旭ロータリークラブ

第一回 理事会 議事録

日時	2025 年 12 月 10 日 (水) 13 時 30 分より	出席者 関口大樹 新川尚 安藤公一 北澤正浩 佐藤勉 関澤信吾 中島徹 市川慎二
場所	例会場	欠席者 福村正

【報告事項】

1 次年度（2026~2027 年度）理事決定について

2025 年 12 月 3 日 (水) に開催された横浜旭ロータリークラブ年次総会において
次年度理事 9 名が承認されましたのでご報告致します。

関口大樹 福村正 新川尚 安藤公一 北澤正浩 佐藤勉 関澤信吾 中島徹 市川慎二

【審議・事項】

1 役員選任について

会長 関口大樹
会長 EL 福村 正
副会長 新川 尚
幹事 市川慎二
SAA 中島 徹
会計 安藤公一
理事 北澤正浩
理事 関澤信吾
理事 佐藤 勉

2 クラブ協議会開催回について

次年度は年間 5 回を予定とし、うち 1 回は第五ガバナー補佐来訪時に、例会時間内に
全員参加で実施する。

第一回	地区協議会終了後 (会長方針及び各委員長との打ち合わせ)	各委員長
第二回	5 月下旬 (各委員長より計画の報告) ※活動計画書作成依頼	各委員長
第三回	ガバナー補佐来訪時 (計画を伝え、ガバナー補佐より論評)	全会員
第四回	1 月中旬 上半期振り返り	全会員
第五回	5 月 通年の振り返り	全会員

3 3 カ年プロジェクトについて

前年度同様、戦略委員会として 3 カ年プロジェクト委員会設置し、理事会がその役割
を兼務する。

4 クラブ管理運営委員会について

昨年の議題では、現会員の人数からみてそぐわないとの意見があり、変更となった。

次年度も同様でよいか。

細則の委員会設置明記

・出席、親睦、会報、研修広報雑誌、会員増強職業分類、会員選考、プログラム

今年度

・親睦出席、会報、プログラム、会員増強、公共イメージ

5 次年度の例会場、例会の回数および例会時間について

今年度と同様、基本は月3回、うち1回（3週目）は夜間例会とする。

6 その他

理事会前に議案書ができていれば、各理事に事前確認できるようにしたい。

また、その場ですべて決めるものでもないので、継続審議という判断もある。

すべて承認

2025年度11月出席率一覧表

員数	会員名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会員名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安藤公一	100	0	100	12	二宮麻理子	34	33	67
2	福村正	34	33	67	13	岡田隆	33	67	100
3	市川慎二	67	33	100	14	佐藤真吾	34	33	67
4	五十嵐正	100	67	167	15	佐藤利明	—出席規定免除—		
5	北澤正浩	100	33	133	16	佐藤勉	67	33	100
6	草柳孝広	34	33	67	17	関口大樹	100	67	167
7	増田嘉一郎	—出席規定免除—			18	関澤信吾	34	33	67
8	目黒恵一	67	33	100	19	宋謹衣	0	0	0
9	中島徹	67	33	100	20	田川富男	100	0	100
10	中谷逸希	0	33	33	21				
11	新川尚	100	100	200	22				
例会日		5日	8日	19日					平均
例会出席率	$\frac{14}{19}$	73.68%	$\frac{5}{18}$	27.78%	$\frac{14}{19}$	73.68%			
修正出席率	$\frac{18}{19}$	94.74%	$\frac{12}{18}$	66.67%	$\frac{14}{19}$	73.68%			78.36%